



九州旅客鉄道労働組合 No. 514 (2024.5.28)

福岡市博多区博多駅前3丁目13-4
TEL 092-472-7950(代)
URL <http://www.jr-krwu.jp>
発行人/吉田祥司 編集人/青木幹雄



新入社員の皆さん ようこそJR九州労組へ！

JR九州労組は、5月13日に配属された新入社員を対象に、九州各地で組合加入説明会を開催し、多くの仲間を迎え入れることができました。

組合加入説明会では参加者した新入社員に対し、労働組合の役割を説明するとともに、JR九州労組の理念や活動の内容、これまで私たちが勝ち取ってきた労働条件改善の取り組みなどを紹介し、JR九州労組への加入を呼びかけた。

はじめ各地方本部・支部、分会の役員を配置して、説明会に参加した新入社員からの質問に対応するなど、組織一丸となって加入活動に取り組んだ。

取り組みに参加した組合員に感謝を申し上げるとともに、残念ながら当日に加入手続きを終えることができなかった新入社員に対しては、今後も中央本部、地方本部・支部、分会が連携して私たちがJR九州労組の役割や運動の必要性を訴えながら、引き続き加入活動に取り組んでいく。

転籍社員の組織拡大と

また、継続して取り組んでいるサービサポートから転籍した社員の組合加入も着実に進んでおり、各地で組織拡大の動きが活発化している。今後は、地域における傾向などの分析をさらに進め、引き続き連携を取りながら、全員加入にむけた取り組みを展開していく。

JR九州労組ってどんな組織？

正式名称

九州旅客鉄道労働組合です。略称としてJR九州労組と呼ばれています。

結成

1993年3月6日に、当時の九州旅客鉄道労働組合と、九州鉄道産業労働組合という2つの労働組合が組織統一を果たして結成され、昨年には結成30周年を迎えました。

組織率

JR九州で働く社員・嘱託再雇用社員・地域社員のうち、約93%がJR九州労

基本理念

JR九州労組は「協立と対立の理念」のもと、活動しています。

主な活動紹介

◆安全

働く者の安全を確保することが、ひいては鉄道全体の安全につながるという認識に立ち、労使共通の課題として、安全最優先の取り組みを実施しています。職場から安全を創るとの観点から、安全衛生に関わる学習会や交流会の開催、情報の共有を行っています。

◆組織

組合への加入活動や次世代の役員育成、本部役員と組合員との総対話集会など、組織力の強化・拡大に向けた取り組みを行っています。

◆女性活躍

すべての女性が安心して働き活きと働き続けることができる職場環境の整備や、女性組合員同士の意見交換会などに取り組んでいます。

◆労働条件改善

賃金水準の向上や職場の環境改善のために、組合員の意見を集め、会社に対して、要求の申し入れや交渉を行い、労働条件の改善に取り組んでいます。代表的なものに、春季生活闘争や期末手当(ボーナス)交渉、会社と労働組合が結んでいる、労働協約の改訂交渉などがあります。

◆政治

労働組合と会社だけでは解決できない課題の解決に向けて、私たちの考えに賛

同する政治家を議会に送り出すため、政治的活動に取り組んでいます。

◆政策

新幹線や地方路線といったJR九州が抱える政策課題だけでなく、地域の公共交通を担う全体の課題解決に向けて、国会・地方議会の議員との意見交換などを行っています。

◆ボランティア

災害復旧ボランティアや、オイスカと連携して開発途上国の農業支援の他、切手やペットボトルキャップの回収といった、身近な活動にも取り組んでいます。



オイスカ収穫感謝祭に参加

◆レクリエーション

組合員同士の交流の機会を増やし、親睦による組織力の強化や企画・運営を通じた役員への育成に取り組んでいます。

◆教育・広報

組合活動に関するセミナーの開催や、組合活動の情報発信として新聞の発行やホームページ等を活用した広報活動を行っています。

◆福利厚生

組合員の相互扶助の観点から、各種共済への加入や福利厚生情報の発信などに取り組み、可処分所得の向上に努めています。

◆青年・女性委員会

若手組合員が中心となって、学習会やレクリエーションの企画・運営を行っています。

肥薩線八代～人吉駅間 鉄道での復旧で基本合意！

2024年4月3日、熊本県・国・JR九州は第7回肥薩線検討会議を開き、令和2年7月豪雨で被災し運転見合わせが続いている肥薩線八代～吉松駅間のうち、八代～人吉駅間を鉄道で復旧する方針で合意した。

肥薩線は八代～吉松駅間の86.8kmが不通となっており、3者は被災前に利用が多かった八代～人吉駅間(51.8km)の復旧を先行して進める。復旧後は上下分離方式により、自治体が維持費を負担することになる。不通区間全体の復旧費は約235億円の見通しで、約9割を公費で負担する。なお、熊本、宮崎、鹿児島県の3県にまたがる残りの人吉～吉松駅間(35km)の復旧は今後、議論するとしている。

JR九州労組は、発表を受け「令和2年7月豪雨で被災した肥薩線の復旧に関する基本合意について(コメント)」を発信した。

令和2年7月豪雨で被災した肥薩線の復旧に関する基本合意について(コメント)

熊本県・国土交通省・JR九州は、2024年4月3日に開催した第7回JR肥薩線検討会議において、令和2年7月豪雨の被災で運転見合わせが続いている肥薩線八代～吉松駅間(86.8km)のうち、八代～人吉駅間(51.8km)を鉄道で復旧する方向性で合意に至りました。

肥薩線は、熊本県・宮崎県・鹿児島県の3県に跨って九州南部を縦貫する全長124.2kmの路線ですが、1909年の全線開通から鹿児島本線として重要な役割を果たし、1927年に肥薩線と名称を変更しても長らく都市間輸送に貢献してきました。近年は地域の足やD&S列車の運行で存在感を発揮してきましたが、2020年7月に発生した令和2年7月豪雨によって球磨川流域を中心に壊滅的な被害を受け、運転見合わせを余儀なくされたところです。

被災後に立ち上げられたJR肥薩線検討会議では、復旧方針について関係者間で議論が交わされました。その結果、国から河川・道路事業との連携を通じた復旧費用の大幅な低減、熊本県からは上下分離方式の導入に加えて、復興方針(案)の策定や日常利用の創出などの具体策が示されたことから、JR九州が2024年度末とされる最終合意にむけて、肥薩線八代～人吉駅間の鉄道での復旧へ検討を深度化していくと表明したところです。この間の国及び熊本県の真摯なご対応とご尽力に敬意を表するとともに、JR九州労組と致しましても今回の決定を重く受け止めている次第です。

しかしながら、復旧までの道のりは依然として厳しいと言わざるを得ません。基本合意では上下分離方式の導入を前提としているものの、人口減少と少子高齢化が一段と進む地方で鉄道を維持・存続するために、マイレール意識の醸成と日常利用の創出は欠かせないものであり、地域活性化やまちづくりの視点から一層の利活用が望まれます。そして、自然災害が多頻度かつ激甚化する昨今において、鉄道用地外を含む防災・減災対策の強化は喫緊の課題となっています。

私たちJR九州労組は、2024年度末を目標とされている最終合意にむけて労使で一致協力し、課題の克服に努めて参ります。また、当該の労使間で解決できない課題については、政治や行政の皆様と連携して解決に取り組むとともに、沿線自治体や地域住民の皆様のご理解とご協力を得ながら、利用者の視点に立った取り組みを進めます。さらに、残る人吉～吉松駅間(35.0km)につきましても関係者による協議の推移を見守っていきます。

2024年4月4日
九州旅客鉄道労働組合
(JR九州労組)

政治を身近なものとして捉え 分会の活性化に取り組みよう

第2回地本支部役員セミナー開催



講演する城井崇衆議院議員

中央本部は4月6日に第2回地本・支部役員セミナーを開催し、中央本部、地本・支部の役員22名が参加した。

【第1部】 JR連合の「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に参画していただいた立憲民主党の城井崇(福岡10区)を招き、「政治への関心の低下」について、政治に関わるようになったきっかけなどの経験談を交え、情勢報告を含めて、講演いただいた。

講演では、「自分自身に関係がない事柄について興味を持つのは難しい。最初にかに、その人のチャンネルを合わせて話しかけるか、聞いてもらえるかが重要だ」と述べ、年代やテーマに合わせて話し方やアプローチに変化をつける必要性について言及し、「若い世代の政治への関心の低下」という言葉を聞くが、実際は若い世代に直接関係するような政策が政治には足りていないのではないかと、若者の政治離れではなく、

政治の若者離れになっていないか」との観点から、立憲民主党で若い世代にサポートをあてた政策である、もっと良い「子ども・子育てビジョン」を紹介した。

【第2部】 第2部では、中央本部の

女性役員セミナー& 意見交換会開催

中央本部は4月20日、JR博多シティ会議室で女性役員セミナー&意見交換会を開催し、JR九州労組の女性組合員だけでなく、グループ労組からも女性組合員が参加した。

大塚製薬「女性の健康推進プロジェクト」によるセミナーでは、女性の健康をテーマに、女性の健康が注目されている理由や月経に伴う様々な不調についてなど、女性自身のヘルスリテラシー向上について学んだ。続いて行われた意見交換



会場の様子

青木教育・広報部長が「分会の活性化について」をテーマに、労働組合の役割や活動の原点である世話役活動への地本・支部役員としての関わり方、組合員とのコミュニケーションの必要性について説明を行った。

JR九州高速船夏季手当要求

第1回団体交渉

5月13日、中央本部及び船舶分会は、申22号で申し入れた2024年度夏季手当の要求について第1回団体交渉を行った。

要求の趣旨説明では、好調なインバウンドを背景に、利用者割合の変化など、経営回復の機運が高まっている点に触れ、今後の更なる経営回復と発展には、組合員の頑張りが必要不可欠で共有した。

カスターマーハラスメントの撲滅には、組合だけでなく会社も認識を共有し、様々な角度から働きかけていくことが重要であり、今後組合員から意見を集め、JR連合や各級機関と連携した取り組みを進めていかなければならない。

参加した女性組合員者の皆さん

ハラスメントについてクイズで学ぶ

女性役員セミナー&意見交換会のアンケート結果

① 女性特有の健康に対する不安はありますか。(大塚製薬さまの講義の感想など)

- ・ 静養(生理) 休暇→男性上司には言いにくい。月に2日だと足りない。休暇取得の際、代わりに働く人を立てないといけなくて言いにくい。
- ・ 更年期→同じ悩みを言い合える同僚がいるといい。
- ・ 泊まり仕事は何歳までできるか不安。
- ・ 男女ともに平等に泊まり仕事をさせるのは本当に平等なのか。
- ・ 乳がんなど婦人病に対する健康診断などの受診方法がわからない
- ・ 男性に今日のようなセミナーを受けてほしい。
- ・ 健康状態が万全じゃないと何かしらの支障が出て仕事のコスパが下がる。
- ・ 妊活に対して、休みではなく、手当(お金)が欲しい。
- ・ 婦人科の健康診断の受診方法がわからないので、会社の健康診断に項目を追加してほしい。
- ・ 薬について(乗務に関わるもの)
- ・ 男性に比べて仮眠時間が少なくなってしまう。

② 職場での不安や困っていることはありますか。

- ・ 作業着に着替えるスペースの確保
- ・ 洗濯機を男女共用なのはいやだ。
- ・ 女性乗泊のシャワー、お風呂の数が少なく、仮眠時間が減る(多数声あり)
- ・ 要員の余裕が欲しい
- ・ 産休などの休暇に対して、いまだによく思っていない男性社員がいる。
- ・ お茶出しは女性に頼むことが多い。
- ・ 男性女性全く同じ業務だとできないこともある(高所作業、力仕事など)
- ・ 社員間で仕事へのモチベーションの差があり、周りへの影響もあるので上司はしっかり指導してほしい。
- ・ 駅の負担が大きい(したくない仕事を押し付けられている)

人物クローズUP

鹿兒島地本執行副委員長 上森 奈志さん

鹿兒島地本からは、上森 奈志地本執行副委員長(鹿兒島乗務センター)を紹介いたします。

▼役員歴は? 分会では執行委員と書記長を経験しました。その後地本で、地本執行副委員長として3期5年目です。担当は業務と財政です。

▼鹿兒島地本の特徴は? 若手役員が多く、既存の活動に捉われない新しい意見を取り入れた活動もしており、日高執行委員長と上飯屋書記長を中心にまとまっています。

▼力を入れている取り組み 年休問題です。感情論だけではなく、就業規則などの勉強や職場での実態をデータとして収集した上で交渉に臨むよう心がけています。

▼座右の銘 世の人は我を何とも言わばいえ 我がなす事は我のみぞ知る

▼鹿兒島のおすすめグルメ 天文館むじゃきの「しろくま」です。

▼一言 今後もアンテナを高く持ち、様々な課題の解決に取り組んでいきます。

▼趣味・特技 麻雀、ダーツ、ゴルフです。麻雀歴は18年、ダーツは学生時代プロライセンスを持つていました。ゴルフは：先輩方にご指導いただいています。

JR九州労組第33回定期大会

第33回定期大会を以下のとおり開催します。

- 日時 2024年7月5日(金) 10:30～
- 場所 JR九州ステーションホテル小倉(北九州市)

ホームページへのアクセスはこちら